



た か ま つ

発行日 令和7年7月18日
学校だより 令和7年度夏休み号
豊島区立高松小学校
校長職務代理 加藤 英城

※夏季休業中の予定等の詳細をお知らせするために、デジタル配信から家庭数配付へと変更しました。

地域に返す夏休み、地域と繋がる夏休み

～「地域を大切にし、地域を愛する児童の育成」を目指して

副校長 加藤 英城

いよいよ、明日から44日間の夏季休業期間となります。

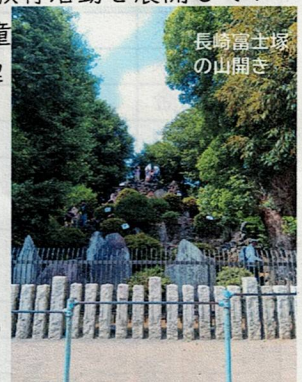
子供たちに大きな怪我や事故がなく充実した中で夏休みを迎えることができますのも、保護者の皆様、地域の皆様の日ごろからのお力添えがあってこそと、改めて感謝いたしております。心より御礼申し上げます。

本日「通知表『高松の子』」を、お子様一人一人に、頑張りの評価と励ましの言葉を添えて担任よりお渡ししました。「通知表」は、お子様の今後の成長のために活用していただくことを一番の目的に作成しております。通知表は、担任や専科教員がお子様の学習や生活の様子、作品等を評価したのですが、それがすべてではありません。見取りきれなかった部分もございます。ですから、学習の成果や学習に向かう姿勢、学校生活での活躍の様子等、子供たちの可能性を秘めた一面を評価したものと受け取っていただければありがたいです。保護者の皆様には、担任の見取りについて、丁寧に、個人面談の折りにご説明いたします。

さて、年度当初に皆様にお伝えしてございますが、本校は『**地域を大切にし、地域を愛する児童の育成**』を学校経営の中核に据え、『**地域とともにある学校**』の具現を目指して教育活動を展開しています。7月4日（金）のオンライン朝会では、富士浅間神社〔富士浅間神社児童遊園〕に出向き、長崎富士塚のいわれを、学校経営支援員 清水則之先生が解説してくださいました。本校学区に存在する貴重な「**地域の宝**」です。



5日・6日の「山開き」には、朝会の話を受け、富士塚を訪れ、「豊島区长崎の富士」に登った子供たちもいたと聞きます。嬉しい事です。当日は「富士元囃子」の演奏もあり、昨年度の3年生が体験学習として学んだ地域の文化に、実際に触れることもできたようです。



そのほか、7月第一週の週末には「ふるさと千川」で町会の夏祭りがあり、そこでは、「要太鼓」を叩く本校児童の姿もありました。

7月第4週には高松2丁目町会、8月第1週には高松3丁目町会、それぞれの盆踊り大会も催されます。お祭り以外にも、早朝のラジオ体操が本校校庭や地域の児童遊園等を会場に行われます。地域清掃も同時に行われます。本校は「**地域の中の学校**」「**地域とともにある学校**」です。私たち教職員も**地域の一員**です。



子供たちは「**地域で**」育ちます。44日間の長い長い夏休み、子供たちは一旦、**地域に**帰ります。**地域にお返しします。地域の伝統文化を体験するイベントや夏祭り・盆踊り当地域行事への参加、地域の清掃活動などのボランティア活動等を通じて、学校だけでは育みきれない「地域の一員としての意識」を高めたり、社会性や地域への愛着を育んだりする機会となることを期待しています。**

どうぞ、「**地域・ふるさと高松の一員として**」、温かく時に厳しく育てていただけたらと思います。

9月1日、子供たちの、一回りも二回りも逞しく成長した「笑顔」に会えることを、切に願っております。